

(オプトアウト)

## 米沢市立病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	上部消化管出血における早期ショックの指標としての Narrow pulse pressure の有用性
該当者	当院救急室を受診された上部消化管出血と診断された患者様
当院の研究責任者	米沢市立病院 外科 佐藤佳宏、千葉裕仁、東 孝泰
研究代表者	米沢市立病院 外科 医員 東 孝泰
本研究の目的	外傷患者においては、病院到着時の血圧が出血性ショックを予想する指標として有用であるとする研究が発表されている。今回、上部消化管出血において、来院時の血圧とその後の経過を調査し、ショック状態に至るか否かを調査することで、来院時の血圧とショック状態との関連を評価し、指標として妥当かを検討する。
実施予定期間	2004年1月から2020年10月まで
研究の方法	2004年1月から2020年10月までの16年間に当院で上部消化管出血と診断された症例を対象とし、来院後の血圧の変動、内視鏡検査結果、輸血の有無などを調査する。
研究に用いる試料・情報の種類	上記対象患者様の診療記録を基に、入院時のバイタルサイン（血圧、脈拍など）、検査所見、臨床経過等の情報を利用します。

外部への試料・ 情報の提供・公表	外部への資料・情報の提供・公表はありません。
個人情報の取扱い	利用する情報から、氏名や住所等の個人を直接特定出来る情報は全て削除 および匿名化します。
利益相反	本研究に関し開示すべき利益相反はありません。
お問合せ先	米沢市立病院 0238-22-2450 (代表)